

## ハイキジムシロ *Potentilla anglica* Laichard. の徳島県への帰化

白井朋子<sup>1a</sup>・小部ゆり乃<sup>2a</sup>・茨木 靖<sup>3</sup>・小川 誠<sup>3</sup>

[Tomoko Shirai<sup>1a</sup>, Yurino Kobe<sup>2a</sup>, Yasushi Ibaragi<sup>3</sup> and Makoto Ogawa<sup>3</sup> : *Potentilla anglica* Laichard. newly naturalized in Tokushima Prefecture.]

キーワード：中級クラス植物観察会，移入種，環境保全，植物誌

A newly naturalized alien plant, *Potentilla anglica* Laichard. in Tokushima Prefecture is reported. This plant grows on open grassy bank in the Bunka-no-mori Park, Tokushima City. This plant might have been brought with ornamental plants from outside the prefecture.

2015年5月、徳島市八万町向寺山の文化の森総合公園内で行われた徳島県立博物館普及行事「中級クラス植物観察会」において、見かけないバラ科草本が生育しているのに気付いた(Figs.1, 2)。その後の検討により、これがハイキジムシロ *Potentilla anglica* Laichard. であると判明し、徳島県からは初出であることがわかったので記録に留める。

本種は、ヨーロッパ原産の多年草で、北アメリカやニュージーランドにも帰化している(植村ほか, 2010)。1997年に吉川アサ子氏が横浜市都筑区茅ヶ崎中央の宅地造成地内で採集し、この標本に基づき報告された(勝山・田中, 1988)。現在では、北海道、本州の千葉県、東京都および岡山県などから記録がある(鳴橋, 2003; 池田ほか, 2003)。

標本：徳島県徳島市八万町向寺山文化の森 Bunka-no-Mori Park, Hachiman-cho, Tokushima City, Tokushima Pref., Shikoku, Japan., Alt. 10-20m。(茨木靖・田中節子・山本裕史・山本桜雅・白井朋子・小川英則・小川彰子・矢間利彦・久米啓介・澤祥二郎・小部ゆり乃 Y. Ibaragi et al. 20160710K07003, Jul. 10, 2016, TKPM BSP-084431 : Fig. 3)

記載：茎は長さ22~55 cm, 赤みを帯び、有毛。地上を這い、よく分枝する。根生葉は掌状複葉、小葉は3~5

枚、葉柄は長さ2.5~8 cm, 基部にある2枚の托葉は下部で合着する。小葉は倒卵形、長さ6~9 mm, 表面は無毛、裏面脈上と葉縁に長毛があり、縁に6~9個の粗い鋸歯がある。托葉は被針形、長さ4~4.5 mm, 全縁、縁に毛がある。茎葉は小葉3(~4)枚、葉柄は長さ0.5~3 cm, 2枚の托葉がある。小葉は倒卵形、長さ7~13 mm, 表面は無毛、葉縁と裏面脈上に長毛がある。托葉は被針形—楕円形で長さ3~4 mm, 全縁、縁は有毛。花期は5~7月。花は葉腋に1個つく。花柄は長さ3.8~8.5 cm。花は径12 mm, 萼と副萼がある。萼片は卵形、鋭頭。長さ5 mm, 縁に長毛がある。副萼片は被針形、鋭頭。長さ4.5 mm, 縁に毛がある。花弁は4枚、倒卵形、黄色、先端は凹み、長さ5~7 mm。雄蕊は16本、雌蕊は13本。果実は瘦果、長さ1 mm, 長楕円形、平滑だが乾くと表面に皺ができる。

所見：鳴橋(2003)には5種類のキジムシロ属が記載されているが、花弁が4枚(まれに5枚)になるのはハイキジムシロのみである。他の区別点としてはコバナキジムシロとは花弁が10 mm以上と大きいこと、小葉が深く裂けないこと、根生葉に5小葉があることで区別できる。オキジムシロとは羽状複葉にならないこと、エゾノミツモトソウ・タチロウゲとは茎が直立せずということ、茎の先端につく集散花序にならずに花が葉腋に1個(まれに2~3個)つくことで区別できる。

2016年12月1日受付, 12月28日受理。

<sup>1</sup> 〒770-0942 徳島市昭和町4-10-3. 4-10-3 Showa-cho, Tokushima 770-0942, Japan.

<sup>2</sup> 〒779-2302 海部郡美波町北河内字本村288. 288 Honson, Kitagawauchi, Minami-cho, Kaifu-gun, Tokushima 779-2302 Japan.

<sup>3</sup> 徳島県立博物館, 〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Tokushima 770-8070, Japan.

<sup>a</sup> Tomoko Shirai and Yurino Kobe contributed equally to this work.



Fig. 1. Habit of *Potentilla anglica* Laichard. at Hachiman-cho in Tokushima City.



Fig. 2. A flower of *P. anglica*.



Fig. 3. A voucher specimen.

本種の生育地は徳島県立文書館脇の坂を登った小高い丘の休憩所の東北向斜面である。ここは、半日陰で定期的に草が刈られてよく手入れがされている。株は地面を這い数株見られたが、咲いているものは2つだけだった。何度も刈られては花を咲かせている様子だが、生育範囲は変化することはなく狭い範囲と思われる。

これまでの周辺の調査では発見されていないことから(木下覺氏私信)、県内に広く分布している可能性は低いが、グランドカバープラントの逸出や土木工事などに伴って分布を拡大している可能性もある。今後の本種の分布の広がりなどに注意を払う必要がある。

## 謝 辞

本研究にあたり、神奈川県立生命の星・地球博物館の勝山輝男学芸員ならびに田中徳久学芸員には、本種の同定に関してご意見をいただいた。また、徳島植物研究会

会長の木下覺氏には、本種の分布などについての貴重なご意見をいただいた。ここに記して謝意を表す。

## 引用文献

- 池田 博・小島裕子・狩山俊悟. 2003. 岡山県に帰化したハイキジムシロ (バラ科). 倉敷市立自然史博物館研究報告, (18): 3-4.
- 勝山輝男・田中徳久. 1998. キジムシロ属の新帰化植物, ハイキジムシロ (新称). 植物研究雑誌, 73(3): 175-177.
- 鳴橋直弘. 2003. キジムシロ属 *Potentilla* L. 清水建美編, 日本の帰化植物, p. 100-101. 平凡社, 東京.
- 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 2010. 日本帰化植物写真図鑑 2. 579 p. 全国農村教育協会, 東京.